

「沼津高専・F-met+ 交流展示会 in 静岡医療センター」開催しました

同時開催「ミニホスピタルショー in 静岡医療センター」

当院と沼津工業高等専門学校は平成 23 年 6 月に事業連携協定を締結し、医工連携により医用機器の研究開発を進めています。平成 27 年 8 月 3-4 日当院において沼津高専の教員による研究内容パネルと富士山麓医用機器開発企業集団「F-met+」による開発品の展示会を行いました。

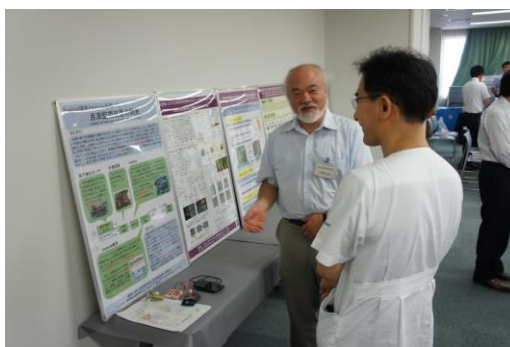
F-met+からは 9 社が参加し、当院職員からの提案で開発された手術中の患者の点滴患部を完全にガードする「ペイシエントガード」、術後のドレーンチューブをミルクングする「ローラー鉗子ロング」のほか、地域の病院のニーズを受けて開発された点滴台の試作品やディスポ手袋の収納ホルダーなどのブースが並びました。開発企業と職員の間で試作品の改良点など活発な意見交換があり、職員からは、安全、使いやすさを共に考える良い機会となったという感想が多くありました。

また、沼津高専の教員による研究内容パネルは 12 題の展示があり、最新の研究内容を解説していただき熱心に聞き入る医師の姿もありました。

医療機器メーカー 11 社による医療材料・機器展示会「ミニホスピタルショー in 静岡医療センター」を同時開催し、2 日間でのべ 103 人の来場があり大いに盛り上がった 2 日間となりました。



開発企業と職員の活発な意見交換



沼津高専の教員から解説を受ける医師